



地域を育み、  
大陸をつなぐ

# Weekly



・会長 山田 直樹 ・例会日 毎週金曜日 12:30  
 ・幹事 唐井 仁一 ・例会場 〒488-0801  
 ・会報 井田 武憲 尾張旭市東大道町 原田 2570-3

・事務所 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945  
 E-mail : owariasahi@mtc.biglobe.ne.jp  
 URL : http://www.w5b.biglobe.ne.jp/~owariasahi/

**本日 第1959回 2011年3月25日(金) No.1851**

本日のプログラム Today's Program

親睦例会

点 鐘

テーマ 「春の家族会について」

ロータリーソング 「それでこそ ロータリー」

**前回 第1958回 2011年3月19日(土) 記 録**

## 東尾張分区 インターシティーミーティング

於ウェスティンナゴヤキャッツル

斉 唄：「君が代」・奉仕の理想」  
 来訪者・ゲスト：別覽  
 出席者：会員29名中14名出席 出席率48.28%  
 前々回補正出席率は3月4日分100%



### 杉山ガバナ補佐あいさつ



東尾張分区 杉山ガバナ補佐

東尾張分区の11RCのロータリアンの皆様、  
 本日は早朝からIMにご参加いただきまして、  
 誠にありがとうございます。皆さまご存じの  
 とおり、去る3月11日に発生した「東日本大震  
 災」は東北、関東地方一帯に未曾有の被害を  
 もたらしました。被災されました皆様には衷心  
 よりお見舞いを申し上げます。

そこで、今回のIMにつきま  
 しては、このよう  
 な状況に鑑み  
 まして、先ほど大竹実行委員長からご説明さ  
 せていただきましたように、当初、予定をして  
 いました内容を一部変更させていただきこと  
 にしました、ぜひ皆様のご理解とご協力をお願  
 い申し上げます。

今回のIMのテーマは「地域を語る、そして奉  
 仕活動につなげよう」です。現在、我が国にお  
 いては少子高齢化が急激に進行して、地域社会の  
 崩壊が懸念されています。そこで、ロータリー  
 クラブ、ロータリアンが地域の社会と人々に対  
 して横糸としての役割を果たすことが出来る  
 かを問い、それを奉仕活動に結びつけるにはど  
 のようにしたら良いかを考えるきっかけにし  
 たいという思いが込められています。第一部  
 のフォーラムでは、各ロータリークラブが行っ  
 ている、地域に密着した奉仕活動の一端をご披  
 露いただき、合せて地域の特徴やお国自慢を紹  
 介していただきます。そして、それをプレゼン  
 するための画像、映像を作成して、プレゼンテ  
 ーターに会長様に勤めていただくようお願い  
 をしました。また、第二部の講演会では、この地  
 域にゆかりの深い浅井慎平さんと安田文吉先

----- 雑誌 月 間 -----

	4月 1日(金)	4月 8日(金)	4月15日(金)	4月22日(金)
例 会 予 定	休会 定款第6条第一節に より (ビジター受付なし)	卓話担当者：広報委員会 卓 話 者：桜井 雅博君 演 題：「広報・週報に ついて」	卓話者：勝屋 弘忠君 演 題：「途上国の医療事 情---JICA派遣の経験から ---	卓話者：伊豆原浩二君 演 題：「地域の公共交通 の状況について」

生を講師にお招きして「わが郷土を語る」をテーマに、トークショー形式で講演をお願いしております。お二人の講師の語らいの中で、この地域に関する魅力や、さまざまな思いに触れることが出来ると思います。また、第三部の懇親昼食会では、各クラブの地域の特産品や自慢の逸品をお持ち寄りいただきましたので、それぞれを賞味していただきながら、地域の再認識、再発見を語りあい相互の友好と親睦を深めていただきたいと思います。

IM は一年に一度、東尾張分区の全ロータリアンが集合しての交流の場です。短い時間ではありますが、和気あいあいとした、ロータリアンの集いとなりますよう願っております。なお、今回の IM の予算のうち、内容変更による余剰金につきましては「東日本大震災」の義援金として寄付をさせていただきます。ことをご了承ください。さらに、義援金につきましては、各 RC や多くのロータリアンからロータリーが纏まって募金活動をした方がよいのではないかとのご意見があります。2760地区では、過去万博の基金募集では、五年間を掛けて二億五千万円を集めた実績があります。そこで、東尾張分区として、各 RC の募金活動とは別に、地区に特別募金計画を立案してもらうことを提案したいと思います。皆様いかがでしょうか。ご賛同をいただきましたことに感謝申し上げます。早速、田嶋ガバナーには東尾張分区の意見としてお伝えします。

## 幹事報告

- ・ 3/11 地区ローター-財団グローバル委員会 於ガバナー分室 加藤清久グローバル委員出席。
- ・ 3/13 地区会長イベントセミナー 於名鉄グランドホテル 西尾会長イベント、森副幹事出席。
- ・ 3/15 名古屋城北RC創立25周年記念式典 於栄東急イン 山田会長、唐井幹事出席。
- ・ 3/17 地区会員増強委員会 於ガバナー事務所分室 加藤清久君出席。
- ・ 本日の例会：3/19(土) IM 8:20受付
- ・ 次回の会合：新入会員研修会
- ・ 例会変更のお知らせ：別紙。

## 第2部わが故郷、わが地域を語る



説明をする山田会長



山田会長の尾張旭市と尾張旭RCの発表です。



当クラブの推薦 夢みるいちじくワイン

## 第3部トークショー

テーマ「わが郷土を語る」

講師 浅井 慎平氏  
安田 文吉氏



安田 私、サンデー・モーニングで浅井さんを拝見致しますが、他のお仲間、金子さん、田中裕子さん、寺島さん、皆さん正統派でいらっしゃいますね。

浅井 全うね、明日のテレビでは災害関係の話も出ますが、共通なものの考え方に、建前の話無、真実、本音の話をするね。

安田 そうです、怖がってはいけません。私の経歴、南山一本ですが、浅井さんは、南山は中学のみだそうで、でも共通していることは、お互い名古屋人の血が流れていることですね。

浅井 私、最近、年々、尾張人の血が流れていると感じますね。





講師 浅井 慎平氏 (写真家)

- 安田 名古屋人の特徴は、「節約、使うときは派手に使う、人を大切にする」気風ですか。
- 浅井 言葉には、「さま」等敬語が多い。
- 安田 「ござる」です。
- 浅井 「みゃーみゃー」も多い。
- 浅井 タモリが名古屋を軽く扱いますが、彼は九州出身、私は浅草人形座で彼と知り合い、芸風は名古屋が色濃く反映しています。
- 安田 名古屋らしいは？、「お値打ち」、「約束を守る」、「高い物でも価値があれば買う」、「物作り盛ん」、「豊かな土地」等、知恵を大切にします。
- 浅井 明治時代は薩長の時代で、尾張は蚊屋の外ですが、おかげで、江戸時代の伝統等、日本の文化が残りました。
- また、優秀な人材が東京に行かなかったので、独特の名古屋人気質が残りました。
- 安田 名古屋の方言、名古屋弁は江戸時代からの共通語、「気づつない」、「おつけ」、等、引き継ぎ、(東京で明治 40 年頃まで使われていた)、「おいてちょうだい」、「米貸してちょうだい」は、近松の浄瑠璃、江戸中期の歌舞伎にも出てくる。
- 「たわけ」もそうである。
- 浅井 古典等は、言葉のフィ - リング、歌舞伎、浄瑠璃等はふりや情緒で作品を鑑賞する。
- 安田 尾張は山、川、海、恵まれた土地柄で生産力が高い。
- 浅井 自然条件がそろい、近代忘れられた循環の思想に回帰している。
- 安田 長良川を止めたのはいけない、地盤血縁を大切にしている。
- 浅井 名古屋の人、全部知り合いにする、東京では個人中心、共同体は出来にくい。
- 安田 東京や大阪は広すぎる。
- 浅井 東京の人はク - ル、人の中に入らない、「じゃ - また」、でわかれるが、名古屋はどんどん深く付き合っただけ。
- 安田 そう、あっちもこっちも連ながる、僕は南山人脈だ。
- 浅井 僕の少年時代、大須が娯楽文化の中心、

映画は日常の居場所で一日中出入りしていたので、スト - リ - を見るのではなくシ - ンを見る、これが、後日、印象的なもの、制止画像と写真の世界に自然に入るきっかけになった、大須の映画はその原点である。また、大道野師も面白い、一つの文化である、友人、アルバイトをやらされて学校を欠席、「話による人の引きつけ方」を知っていた。



講師 安田 文吉氏 (南山大学 教授)

- 参道がなくなったことが大須に寂れた原因、浅草との違いだ。
- 安田 大須、野球場もありました。
- 浅井 当時、大下弘、投手の清水のドロップ等、小学校 4 年生で良く覚えている、私は、聖書の話など殆ど知らない、しかし、何かのことで、ドイツ人神父が二つの文章を暗記せよ、それを今でも鮮明に記憶している、教育は大切だ。
- 安田 浅井さんは昭和 18 年、私は、6 歳年上の昭和 12 年、大須の門前小学校に通学、大須や伏見に遊郭があった。
- 加藤公明、坪内逍遙、二葉亭四迷も大須の出身、そう、明治時代、尾張文化は敬遠されていたが、おかげで、今でも継承されているものが多い。
- 浅井 名古屋弁の河村弁、おおまが正しいし関心が高まっている。
- 方言、複雑微妙な表現で、「色恋」と「恋愛」の相違、「どえりゃー」、英語の表現はない。
- 外交、条約等において表現しにくいものがあり、折りにつけ誤解が生まれる。
- ノ - ベル賞の増川論文など英語では書けない。
- 安田 そう、当地の歴史を語るに良い、家族の考えもちがう、ドイツは夫婦中心、日本は、家中心、百姓と農家も感覚が違うので通訳に困る。
- 浅井 方言の言葉の使い方、河村氏流で話すと誤解が生じやすい。
- 安田 そうですね、方言は歴史があり、JR熱田駅北側に横田町と言う街があり、そこから「よこた」が生まれた。
- 浅井 私の娘は東京生まれ東京育ちであるが、

父母の影響を受け、微妙に言葉のイントネーションが違い名古屋の影響を受けていることを見破られる。

浅井 名古屋発の文化は。

安田 名古屋の文化は江戸時代、宗春の時代が全盛、江戸末期、熱田の宮の宿、潮来節とよしこの節が合わさって都々逸ができた。

神戸節(こうどぶし)のはやし言葉、「どいつじゃどいつ」がなまって都々逸となり、男女関係の微妙な話が多く話しにくい。また、名物の名古屋甚句も名古屋弁、古い芸、宗春の時代、心中もの、名古屋文楽、常磐津、新内、清元等である。

浅井 常磐津、新内、清元はどこではやったか、花街ですか。

安田 歌舞伎森田屋のニュー・ファッション、江戸時代の髪型、文金高島田。

浅井 奇妙きてれつで、現在研究者はいますか。

安田 いない。

浅井 あんな特殊な物どうして生まれたか。

安田 研究したいが、手がまわりません。

浅井 隈取りは、大体仏像の不動明の隈取りで、中国より入ってきた。例えば蜘蛛であるとか、蜻蛉なんかも、中国の京劇からか。

安田 公家さんの髷、冠をとったのがない、源氏物語でも病気で寝ているときでも冠被っている。髪型わからぬ。

今、研究は、浄瑠璃が手一杯、浄瑠璃は文章で継承ができない。

浅井 浄瑠璃は、人形と会わせ業、これなしでは事実みえない。

安田 そう、浄瑠璃は人形と一体、私は、小学校時代、熱田の横田から万松寺、広小路を経て、西川流の踊りの稽古に通い、浄瑠璃の芸の渦中にいた。

昭和 27 - 28 年の頃、アメリカ村はカルチャー - の違う世界。

浅井 私も、今の白川公園に米軍施設があった。金網越しにアメリカをみた。

安田 食い物、トラック、ドッチボール、豚の頭が印象的。

幼児の頃、親父がよく広小路西の御園座へ歌舞伎を見に連れていってくれた。

幼かったので、退屈とどび回っていたが、まわりは誰も文句をいわず、こうした経緯が現在(おどり、唄、歌舞伎)等、研究できる原点である。

浅井 そう、道楽で生きる、難しい。

安田 現在、学会、講演等で地方へ行く。

浅井 消えてゆくもの、これを守る役目がある

安田 平家物語、現在伝承出来ている人は江南市の今井検校さん、ただ一人、その理由は目の見えない人で鎮魂、浄土へ導くこと。この人にお弟子さんができればいいけど、亡くなるともう正統な継承者が消えてしまう。

浅井 そういう意味では、今回の災害も語り継がないといけない。

芸の中にあるものを伝えてゆく、今、迫られている。

安田 大切である、日本の伝統的文化の継承。

浅井 名古屋は、名古屋的なものが残っている地区、これからも学び、残したい物、伝えたい物を伝承してゆきたい。

安田 そのなかに、子供歌舞伎がある。

今、名古屋子供歌舞伎といってメンバーが70人くらいいます。僕が一応指導者をやっています。

落語も、子供は正確に覚えて忘れない、今、その意味が分からなくても、年を重ねる毎にその精神を感じる、教える事が大切である。

(セリフ、動作、わからぬままでも)

浅井 東京都立の高校から校歌を依頼された。

山、川、校名は無、これで良いですか、「地球、宇宙」をテーマに、「山下 洋輔」さんに、作曲を依頼、校歌なのにジャズ調のしゃれた校歌ができ好評で嬉しい。

安田 そう、子供に繋ぐ、これから大切、今、うまくいってなくても、伝統的なものを教える。

仰げば尊し、蛍の光等は唄われなくなった、名古屋は、昔の事が良く残っているので、大切に伝えてゆきたい。

幸せであることが大切、疲弊した社会を見直すチャンス、力が湧いてくる社会を創ろう。(文責:加藤 清久)



バスターガバナ補佐 坂田 隆氏(瀬戸北RC)



当クラブメンバー(懇親会場)